

平成30年度 坂本地域山村活性化協議会総会

日 時 : 平成30年5月18日(金)
場 所 : 鶴喰生活改善センター

会 議 次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 報 告

(1) 平成29年度事業報告、決算について

(2) 監査報告

(3) 平成29年度山村活性化支援交付金事業実施評価書について

(4) その他

4. 閉 会

平成29年度事業報告

【平成29年度事業計画】

基本方針

当該地区におきましては、人口減少や高齢化が著しいことから、人材や労働力が不足しつつあり、地域社会の活力低下が心配される状況である。

今後は、29年2月に設立された「農事組合法人鶴喰なの花村」を中心に、「自分たちの集落は、自分たちで守る」ことを基本方針とし、高齢者も生き生きと仕事ができ、安心して生活でき、美しい田園風景を維持する仕組みづくりを実現し、地域の活性化を図る。

本年度の具体的な取組みとしては、鶴喰産米のプロモーション活動を行うことで販売力の強化を図ることである。

【本部会議】

- ・ 事業の工程管理

【法人設立部門】

- ・ ミニライスセンター施設整備、作業受委託の検討
- ・ 税務・経理研修

【ブランド米確立部門】

- ・ 栽培方法の検討(熊本県推奨うまい米基準のSランク)
- ・ 現地検討会
- ・ 来年度の米の作付け計画、土づくり

【販売戦略部門】

- ・ 鶴喰産米プロモーション業務
- ・ 「坂本ふるさとまつり」において試験栽培したお米の試食
- ・ ホームページ制作

【マーケティングリサーチ部門】

- ・ PR活動
- ・ お米やさんとの交流会(田植えか稲刈り時)



【平成29年度事業実績】

【本部会議】

4月25日	第1回本部会議 平成28年度事業報告、決算について 平成29年度事業計画、予算について	
-------	---	--

【法人設立部門】

4月～9月	<p>当初、本年度「法人設立部門」で地代の支払い、機械リース料、作業受委託等の検討する予定だったが、法人が前倒しで設立できたため、法人の理事会において検討がなされた。</p> <p>新たに、集落内外の農地を集積し、耕作放棄地となりそうな農地の受け皿となるため、農事組合法人鶴喰なの花村が事業主体となり、ミニライスセンター施設を整備することとなった。</p> <p>本事業終了後も地域内の所得の向上や雇用の増大を図るため、継続的に発展させる組織や仕組みづくりを構築する必要があり、農事組合法人鶴喰なの花村が、本事業を承継し、承継タイアップ事業として、国の経営体育成支援事業（条件不利地域補助型）及び県の地下水と土を育む農業育成事業を活用することとし、組合の役員と資金、事業申請等の協議を重ねた。</p>	<p>農林中央金庫 21世紀農業フォローアップ資金</p> <p>(県) 地下水と土を育む農業育成事業</p> <p>(国) 経営体育成支援事業（条件不利地域補助型）</p>
-------	--	---

4月27日	・税理士と経理事務について相談	上原税理士
11月28日	・税理士と決算状況、従事分量配当について相談	



H29年9月ミニライスセンターを整備することができた。
 28年産の米も大変いい出来だったが、自前のライスセンターがなかったため乾燥調整にややばらつきが見受けられ、ブランド化を図る上で課題が残った。
 本年度、国、県の補助事業を活用し、9月に竣工し、今後は、農家の高齢化、後継者不足、米価下落等の様々な要因により耕作放棄地が急増するなかで、20ha規模の農地を当該地区や周辺集落から農地集積または作業受託する予定である。

【ブランド米確立部門】

4月20日	第1回ブランド米確立部門会議 日本穀物検定協会の試験結果について 平成29年度試験圃場について 田植えまでの作業確認について 特別栽培米の取組みについて 環境保全型農業直接支払交付金について	(オブザーバー) JAやつしろ 南部営農センター 県農業普及・指導課 市農業振興課 市農林水産政策課
7月11日	第2回ブランド米確立部門会議 中干しから穂肥までの作業確認について 病害虫対策について 現地検討会	(オブザーバー) JAやつしろ 南部営農センター 県農業普及・指導課
8月4日	第3回ブランド米確立部門会議 最高分けつ期における生育状況について 幼穂診断について 穂肥について 病害虫対策について 現地検討会	(オブザーバー) JAやつしろ 南部営農センター 県農業普及・指導課
8月29日	第4回ブランド米確立部門会議 防除について 出穂後の管理 現地検討会 ライスセンターにおける節目の確認 熊本県推奨うまい米基準Sランク申請について 日本穀物検定協会ランキング対応について	(オブザーバー) JAやつしろ 南部営農センター 県農業普及・指導課
9月21日	第5回ブランド米確立部門会議 適期刈取りについて 収穫後の乾燥調整について 現地検討会 食味官能試験について	(オブザーバー) JAやつしろ 南部営農センター 県農業普及・指導課

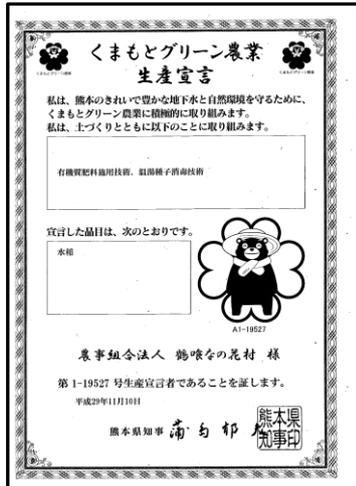
<p>2月26日</p>	<p>第6回ブランド米確立部門会議 H29年産の総括 H30年産（くまさんの輝）試験圃場の選定について H30年産作付け計画について 米の表示について 玄米及び精米品質表示基準について 米トレーサビリティ法について 環境保全型農業の取り組みについて</p>	<p>(オブザーバー) JAやつしる 南部営農センター 県農業普及・指導課</p>
--------------	---	--



(現地検討会、会議の様子)



(エコファーマー計画認定書)



(くまもとグリーン農業生産宣言)



熊本県推奨うまい米基準取り組み届出受理書
Sランク(グリーン農業マーク付き)

【販売戦略部門】

※本年度は、マーケティングリサーチ部門、販売戦略部門 併せて実施した。

5月25日	第1回販売戦略部門会議 マーケティング調査に基づいた戦略策定について 事業スケジュールについて	(オブザーバー) 市フードバレー推進課 ドットワークス
6月5日	第2回販売戦略部門会議 フィールドワーク 組合として、初めての田植え、田植え後の「さなぼり」を復活 リーフレット用写真撮影 ロゴデザイン(案)について	(オブザーバー) 市フードバレー推進課 ドットワークス
6月20日	第3回販売戦略部門会議 ロゴデザイン(案)について	(オブザーバー) 市フードバレー推進課 ドットワークス
7月4日	第4回販売戦略部門会議 各種デザインの確認 本年度生産状況について確認 販売促進の時期について	(オブザーバー) 市フードバレー推進課 ドットワークス 県農業普及・指導課
8月14日	第5回販売戦略部門会議 各種デザインの確認 「ディスカバー農村漁村の宝」応募について 「秋の山里収穫祭in鶴喰」体験イベントについて	(オブザーバー) 市フードバレー推進課 ドットワークス 県農業普及・指導課 JAやつしろ
8月28日 ～ 8月29日	米穀店訪問 屋部商店(福岡市)、内山米穀店(糟屋郡志免町) 納富米穀店(糸島町)、吉村商店(福岡市)、山荘通米穀店(福岡市) 東福町米穀店、松尾米穀店	委員・事務局
9月1日	米穀店訪問 御船共栄株式会社、田中米穀店	委員
9月12日	第6回販売戦略部門会議 各種デザインの確認 「やつしろプロモーションin九州広場」について 「秋の山里収穫祭in鶴喰」体験イベントについて 「第31回坂本ふるさとまつり」について	(オブザーバー) 市フードバレー推進課 ドットワークス
9月13日	第7回販売戦略部門会議 冊子、米袋、のぼり、タペストリーの納品報告及び使用目的等について 「やつしろプロモーションin九州広場」について 「第31回坂本ふるさとまつり」について 学校給食での鶴喰米の試食会について 市職員、県職員への新米の予約販売について	(オブザーバー) 市フードバレー推進課 ドットワークス 県農業普及・指導課
10月15日	「秋の山里収穫祭in鶴喰」体験イベント 参加者:熊本市内(28)、八代市内(32) ぼたもちづくり、稲刈り、郷土食(昼食)	市フードバレー推進課 県農業普及・指導課 有限会社九州中央エージェンシー
10月23日	学校給食での鶴喰米の試食会 八竜小学校、坂本中学校	委員 市農林水産政策課 市農業振興課 市フードバレー推進課

10月24日	「やつしろプロモーションin九州広場」 1回目 市内事業者による物産展及び八代市PR (販売実績) 3kg 10、3合 40、漬物(試食用)	市フードバレー推進課 ドットワークス 委員、事務局
11月12日	「第31回坂本ふるさとまつり」に出店 試験栽培したお米の試食販売、坂本米コンテスト	
11月21日	第8回販売戦略部門会議 これまでの総括(報告)と今後の販売戦略について TKUテレビくまもと「お正月特別番組」について 市職員、県職員への新米の予約販売について 道の駅坂本との販売促進活動について ポスター制作について リーフレットの増刷について 学校給食での鶴喰米の契約について(報告) 「やつしろプロモーションin九州広場」について(2回目) 八代市ふるさと納税について	(オブザーバー) 市フードバレー推進課 ドットワークス 県農業普及・指導課 有限会社 九州中央エージェンシー
12月11日	「やつしろプロモーションin九州広場」2回目 市内事業者による物産展及び八代市PR (販売実績) 2kg 20、3合 10、黒にんにく 7、漬物(試食用)	市フードバレー推進課 ドットワークス 委員、事務局
1月3日	TKUテレビくまもと「お正月特別番組」に出演 1/3 8:15位から5分程度放送 番組中CM 1本、TKUのHP掲載	五つ星お米マイスター 屋部商店 中島拓海 組合員
2月22日 ～ 2月23日	先進地視察研修 先進地視察研修(佐賀県多久市 ひらの棚田米振興協議会) 「ディスカバー農村漁村の宝」第4回に選定団体	委員・事務局



「秋の山里収穫祭in鶴喰」体験イベント



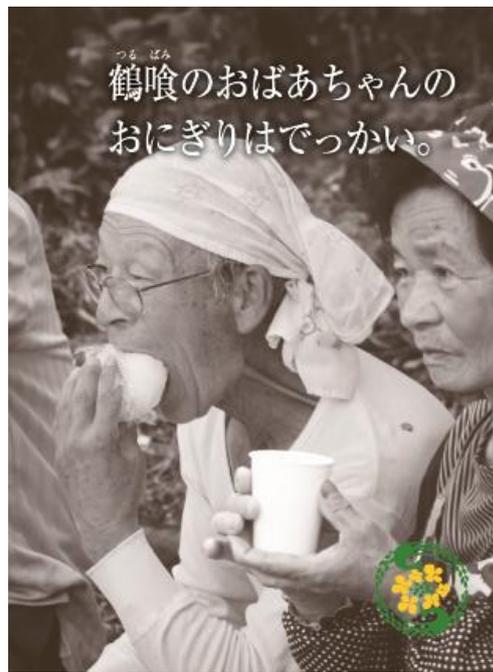
TKUテレビくまもと「お正月特別番組」収録



「やつしろプロモーションin九州広場」



米袋



リーフレット

【その他】

10月23日	八代農業普及・振興課行政視察・意見交換	
11月20日	東陽町五反田地区より視察研修	
12月7日	県南振興局部長行政視察・意見交換	
1月25日	「くまもと・むらの再生フォーラム」 事例発表 熊本市民会館 早川理事発表	
1月28日	山都町より視察研修	
2月4日	「食育・地産地消フォーラム」 八代市厚生会館 組合長 パネラー出席、鶴喰米の試食・販売	
2月13日	県中山間プロジェクトチーム視察、意見交換	
3月2日	別府市農業振興推進協議会より視察研修	

※ 平成29年度「農山漁村活性化事例集」(九州農政局)で紹介

※ 平成28年度「くまもと里モン賞」(個別活動部門)を受賞

平成29年度収支決算書

【収入の部】

項 目	当初予算額	収入済額	比較増減額	備 考
交 付 金	5,700,000	5,700,000	0	山村活性化支援交付金
事業主体負担金	0	0	0	
市つなぎ資金	5,700,000	5,700,000		
計	11,400,000	11,400,000	0	

【支出の部】

項 目	当初予算額	支出済額	比較増減額	備 考
賃金	0	0	0	
報償費	210,000	0	△ 210,000	
旅費	831,120	620,976	△ 210,144	「やつしるプロモーションin九場」 鶴喰米販促(福岡市) 「福岡市米穀店」への鶴喰米の販促 先進地視察研修(佐賀県多久市)等
需用費	22,780	131,797	109,017	事務用品等、チラシ印刷等
役務費	115,100	16,308	△ 98,792	振込手数料、ホームページ更新手数料
委託料	3,080,000	3,141,600	61,600	鶴喰米プロモーション業務委託料 「秋の山里収穫祭in鶴喰」イベント 委託料 鶴喰米PR活動等業務委託料
使用料及び賃借料	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	
報酬	1,030,000	1,213,500	183,500	委員会議日当
共済費等	0	0	0	
補償費	131,000	0	△ 131,000	
資材等購入費	240,000	454,519	214,519	試験圃場 種子、農薬、肥料等
機械賃料	40,000	121,300	81,300	
研修手当	0	0	0	
市つなぎ資金返還金	5,700,000	5,700,000	0	
計	11,400,000	11,400,000	0	

監 査 報 告

平成29年度坂本地域山村活性化協議会の会計監査にあたり、平成30年3月28日、収入支出に伴う決算書並びに金銭出納簿、通帳、領収書等について監査しました結果、いずれも正確かつ適正に処理されていたことを報告します。

平成30年5月18日

監事 八代市農林水産政策課
小 堀 千 年

監事 熊本県県南広域本部農業普及・振興課
三 ッ 川 昌 洋

平成29年度 山村活性化支援交付金事業実施評価書

1. 事業名 平成29年度山村活性化支援交付金事業

2. 事業実施主体名 坂本地域山村活性化協議会

3. 事業概要

・事業目的
地域振興の中心となる集落営農法人を設立し、米のブランド化を図ることで地域内の所得や雇用の増大を目的とする。
また、本事業に取り組むことによって、集落のコミュニティ形成及び農業・農村の多面的機能の維持が困難な状況から脱却し、地域の活性化に繋げる。

・事業費・交付額(単位:円) 事業費 5,700,000円 交付額 5,700,000円

・事業実施期間 平成29年4月1日 ～ 平成30年2月26日

4. 実績評価

(1) 目標の達成状況等の総合的評価

本事業では、集落営農法人を設立し、米のブランド化に取り組むことで、雇用と所得の向上を図ることが目標であった。

昨年度法人を設立し、新規雇用人数を達成することができた。

平成29年度の事業については、ブランド米の栽培方法の確立及び販売先や販売方法の検討であったが、「熊本県推奨うまい米基準」トップクラスのSランク(グリーン農業マーク有)の届出が受理され、試験圃場で栽培された「くまさんの力」が日本穀物検定協会食味ランキングでAの評価を受けるなど栽培方法の確立については評価ができる。

また、「エコファーマーの認定」、「くまもとグリーン農業宣言」を行い、法人が集積した全ての圃場において環境保全型農業に取り組んでいることが、集落の美しい環境を守っていく取り組みとしても消費者に安心・安全な商品を提供する取り組みとしても評価ができる。

販売先については、近隣や市内の飲食店、地元の学校給食への納入、市職員、県職員への注文販売、五つ星の米穀店等への納入実績ができています。

販売方法については、29年産から安全・安心・おいしいお米を直接消費者に届ける取り組みを始めており、29年度決算において従事分量配当及び利益準備金で目標値を上回ることができた。以上のことから、十分に目標が達成されている。

(2) 取組状況

平成28年度に29年度設立予定だった集落営農法人が前倒しで設立でき、農地集積もできたことから、本年度は本部会議を中心に「ブランド米確立部門」「販売戦略部門」の2つの専門部会に集中し活動を行った。それぞれ連携機関と連携し、「ブランド米確立部門」においては、年間計6回の打合せ会議、現地検討会を実施し、試験圃場において、ブランド米(特別栽培米)の取り組みを行った。

「販売戦略部門」においては、マーケティング調査に基づいた戦略策定を行い、年間計8回の打合せ会議を実施し、「鶴喰米を通じ消費者と親戚のようなお付き合いをしていく」というコンセプトで販売方法の検討を行った。

また、ロゴの作成、米袋のデザイン、リーフレットの作成、のぼり、タペストリーの販促グッズのデザインを検討し試作品を作成した。

他に、九州圏内の米穀店訪問、2回のPR会の実施(福岡市)、収穫祭の実施、テレビ出演等の取り組みも行った。

(3) 事業実績

・鶴喰米のブランド化に向け、品種、栽培方法の検討(特別栽培米)及び試験圃場の土づくりを実施。

(熊本県推奨うまい米基準のSランク届出が受理された)

・米の食味分析(県)

・国産米の市場分析及び鶴喰米のマーケティング戦略検討

・鶴喰米の魅力発信のためのフィールドワーク

・米袋、ロゴ、手提げ袋、リーフレット、幟旗タペストリーのデザイン・試作品作成

・「秋の山里収穫祭in鶴喰」体験イベントを開催

・九州圏内の米穀店へPR活動

・「坂本ふるさとまつり」において、試験栽培した米の試食、坂本地域の米コンテストを実施

- ・地元小学校、中学校で鶴喰米の試食会を実施。その後納入している。
- ・「やつしろプロモーションin九州広場」(福岡市役所前)において、鶴喰米の試食会・PR活動(2回実施)
- ・地元のお正月特別テレビ番組において、五つ星マイスターと鶴喰米のPR
- ・八代市ふるさと納税の返礼品(米)
- ・「ディスカバー農山漁村の宝」へ応募(他薦)

(4) 実施体制

「ブランド米確立部門」については、県、市、JA等と十分連携し事業を行うことができた。
「販売戦略部門」については、市フードバレー推進課、県、市、JA、委託業者と十分連携し事業を行うことができた。

(5) その他事項

特になし

5. 事業実施結果

・目標達成状況

指標	目標値	実績値	達成率
販売額、雇用等に関する指標			
新規雇用人数(人)	5	38	760%
新規事業に伴う所得の向上(千円)	1000	1420	142%

(計測方法) ・集落営農組織(法人)の参加人数

・集落営農組織(法人)の各個人への支払い額及び内部留保額を決算書で確認

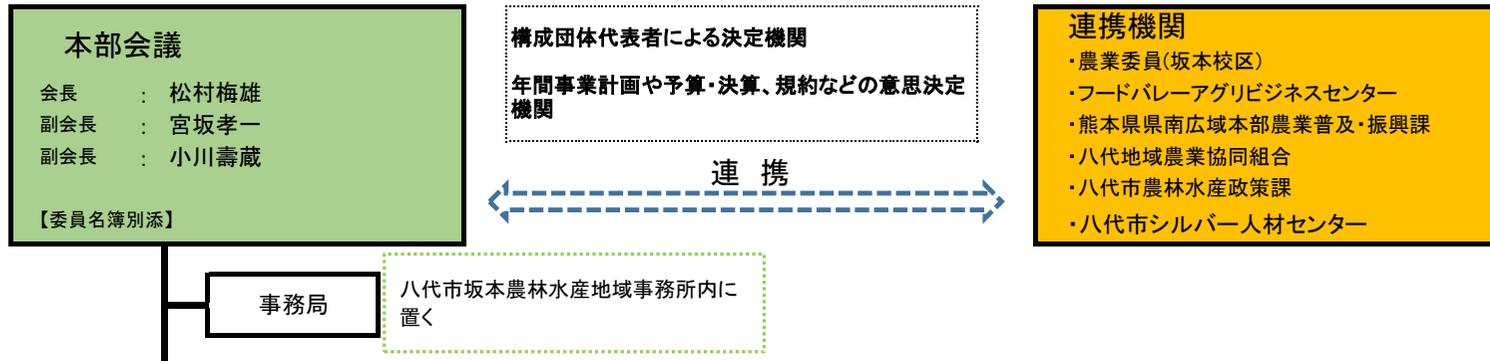
・所見

元JAやつしろ営農部長 平野和臣 元八代市農林水産部長 橋口尚登

本事業の柱である農事組合法人の設立及びブランド米の取組みについては、当初の想定より前倒しで順調にできている。

所得や雇用に関する目標を達成し、地域の活性化に繋げていくためには、ブランド米の販売力の強化、園芸作物の導入、六次産業への取組みが必要で、本事業については本年度が最後となったが、今後は、農事組合法人鶴喰なの花村が集落のリーダーとして、引き続き連携機関と調整を図りながら取り組んでほしい。

坂本地域山村活性化協議会実施体制図



作業部会					
1年目 山村地域の振興(集落営農組織の設立)を目的に、組織づくりや2年目以降の事業計画の策定に取り組む。					
法人設立部門	ブランド米確立部門	販売戦略部門	マーケティングリサーチ部門		
2年目 <ul style="list-style-type: none"> ・事業内容の検討 ・法人設立の手続きの研修 ・組合員への報酬の検討(従事分量配当制) 	2年目 <ul style="list-style-type: none"> ・品種、栽培方法の検討(熊本県推奨うまい米基準のSランク) ・試験圃場での栽培 2000㎡×4圃場 ・現地検討会 ・残留農薬検査、食味分析、土壌分析 	2年目 <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットの絞りこみ ・主力となる商品の検討 ・販売先の検討 ・販売単価の検討 	2年目 <ul style="list-style-type: none"> ・ブランドコンセプトの確立に向けた検討 ・アンケート調査の設計検討 ・アンケート調査の実施 ・お米やさんとの交流会(田植えか稲刈り時) 		
3年目 <ul style="list-style-type: none"> ・税務・経理研修 ・地代の支払い、機械リース料、作業受委託の検討 	3年目 <ul style="list-style-type: none"> ・試験圃場での栽培 2000㎡×4圃場 ・現地検討会 ・残留農薬検査、食味分析、土壌分析 	3年目 <ul style="list-style-type: none"> ・お米袋のデザイン検討 ・情報提供方法の検討 	3年目 <ul style="list-style-type: none"> ・消費者との交流会(坂本ふるさとまつり時) ・お米やさんとの交流会(田植えか稲刈り時) 		
法人設立が前倒しのできたため、上記の協議事項は、組合の理事で検討した。	部会長	宮坂孝一	販売戦略部門とマーケティング部門業務内容を統合して実施(委員は、新たに右の者を選任し、実施)	部会長	早川博秋
		小川壽蔵		副	鶴堀直人
		鶴堀直人			上村信子
		中原ケイ子			呑田サエ子
		宮坂次男			中原ケイ子
					谷口加代美
			迫本千恵子		
事務局	事務局	事務局	事務局		